

石油文明を越えて…歴史的転換期への国家戦略

内田盛也・著 四六判上製 348 ページ 本体 1,800 円



20 世紀の人類に豊かな実りをもたらした石油文明は、ゆっくりとしかし確実に衰退に向かい始めている。その繁栄を支えた資源浪費型経済は、爆発的な人口増加とともに地球人類の扶養能力の限界を超えて、もはや破滅への道を突き進んでいるのはいか。欧米主導の既成秩序が崩壊の兆しを見せ、新しい世界秩序づくりへの明確なシナリオが示されずにいる現在、本書は、ポスト石油の世紀に乗り出す海図なき新たな大航海への針路を指し示し、日本

国民が選択すべき大胆な国家戦略のビジョンを描き出す。

第1章 文明史的転換期への時代認識

第2章 有限の地球・異常気象・食糧危機の兆し

第3章 世界を動かす中東情勢

第4章 資源戦略で復権目指すロシア

第5章 エネルギー争奪の世界大戦

第6章 石油ピークが産業社会革命を誘発

第7章 一党独裁国家中国のアキレス腱

第8章 世界的視野による国家戦略

第9章 資源小国日本の命運

第10章 人類と地球社会の世紀

終章 日本国家の経営